

---

# HTML5

---

株式会社アイ・シー・アイ



# HTML5

現在、HTML5で作成されているホームページが多くなってきており、  
今後はHTML5で書かれたものが普及していくと思われます。

今はHTML4というバージョンが主流ですが、  
HTML5とはいったい何であるのか、今までとは何が違うのか説明し  
ていきます。



### 今までの違い

HTML5とはHTMLの5回目の改訂版で、以前のものに比べて記述が短くシンプルになっています。

困難であった**動画の配置**や**グラフィックの作成**などが**HTML上**で行うことができ、Flashで行われていたことなどが**HTMLで実現**できるようになっています。

記述もシンプルで見やすくなっているため、情報をたくさんつめたページでもCSS等を利用してHTMLの記述自体を短くすることも可能です。

参考文献 : <http://techblog.yahoo.co.jp/html5/html5/>



HTML5の普及自体は、現在企業のホームページなどで主に利用されており今後もさらに普及されていくものと思われます。

現在対応しているブラウザはIEでは8から、SafariやChromeでも問題なく閲覧できます。

まだ対応していないブラウザ等もあるため、HTML5がうまく機能しないので完全な移行はまだ難しいと思われますが、今後は対応ブラウザが増加すればHTML5によるWEBサイトもますます増える見込みです。

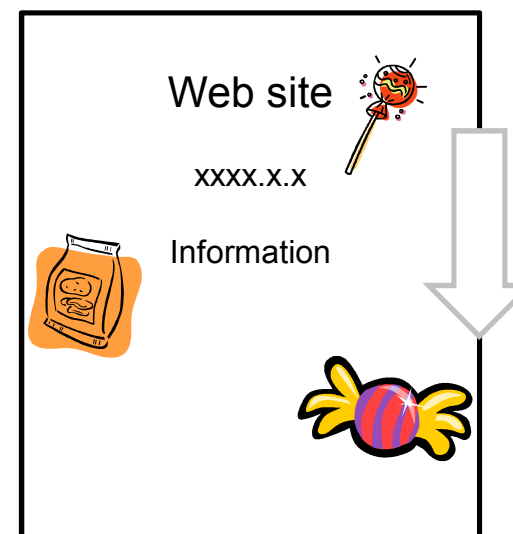


Internet Explorerはバージョン8から



Firefox、Google Chrome、Safariなども対応

参考文献 : <http://html5-css3.jp/useful/css3-html5.html>



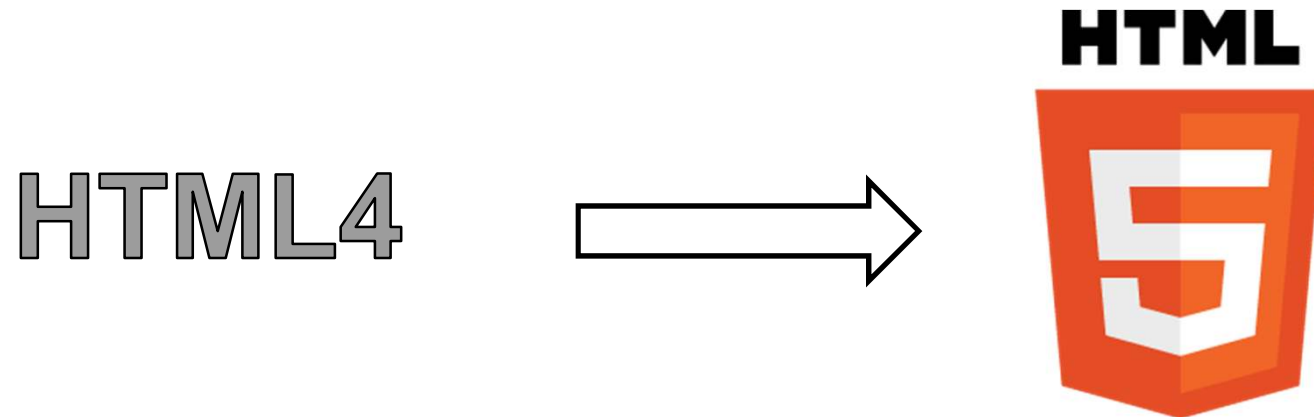
## Youtube動画を背景としたWEBページ

## スクロールとともに動くグラフィック

Webページの背景をまるごと動画にしてみたり、スクロールすると画像や背景が動いたり。視差効果をつかったアニメーションなどもつけることができ、**デザインにおいて非常に多様な表現ができる**ようになりました。

YouTubeの動画をフルスクリーンで背景として表示することも可能となり、アーティストのライブ映像やCMを背景としたり、様々な利用法が考えられます。

参考文献: <http://photoshopvip.net/archives/28271>



ブラウザの対応や、記述の仕様が短くなったことによる変更など様々な課題はありますが、今まで複雑だったことを可能とするHTML5は今後Webページ作成の幅を広げます。

見ているだけで楽しく、さらに様々な表現ができる有効的な活用法ができることが期待されます。

